

年次報告書

AKATSUKI ANNUAL REPORT 2015

2015

NPO法人 アカツキ



持ち寄って働く、寄り合って暮らす。
それぞれの『私たち』に拓かれた社会へ。

【住所】〒810-0022 福岡市中央区薬院2丁目16番14-502号

【Email】 info@aka-tsuki.org 【Web】 <http://aka-tsuki.org/>  <https://www.facebook.com/npo.akatsuki>

♥ SPECIAL THANKS

本アニュアルレポートの制作においては、サポーター会員の中里明日香さんに紙面デザインを、同じくサポーター会員の太倉慶子さんに文章校正をお願い致しました。ご協力に感謝申し上げます。



持ち寄って働く、寄り合って暮らす。 それぞれの『私たち』に拓かれた社会へ。

アカツキが目指すのは、ゆるやかで関係性の豊かな社会です。

「みんな一緒」でも、「私だけ」でもない、様々な『私たち』があちらこちらに存在し、

互いに認め合いながら、また一方で互いの要望をはっきり伝え、

合意を形成しながら、拓かれた多様性の中でともに生きてゆける社会を目指します。

mission1 参加と協力の仕組みを育てる

信頼と共感による寄付やボランティアという社会参画の形を人々に提案することで、市民の主体性や協力関係を促進し、非営利組織が持つ「一人ひとりの自らが変わる力」を高めることができる「参加と協力の仕組み」を育てます。

mission2 試されない関係性を広げる

肩書きや収入、能力、容姿など、大小様々な評価、そして「あなたは何者であるか」という問いにさらされることのない、呼吸のしやすい場所や空間をつくり、そこで生まれる「試されない関係性」を社会へと広げていきます。

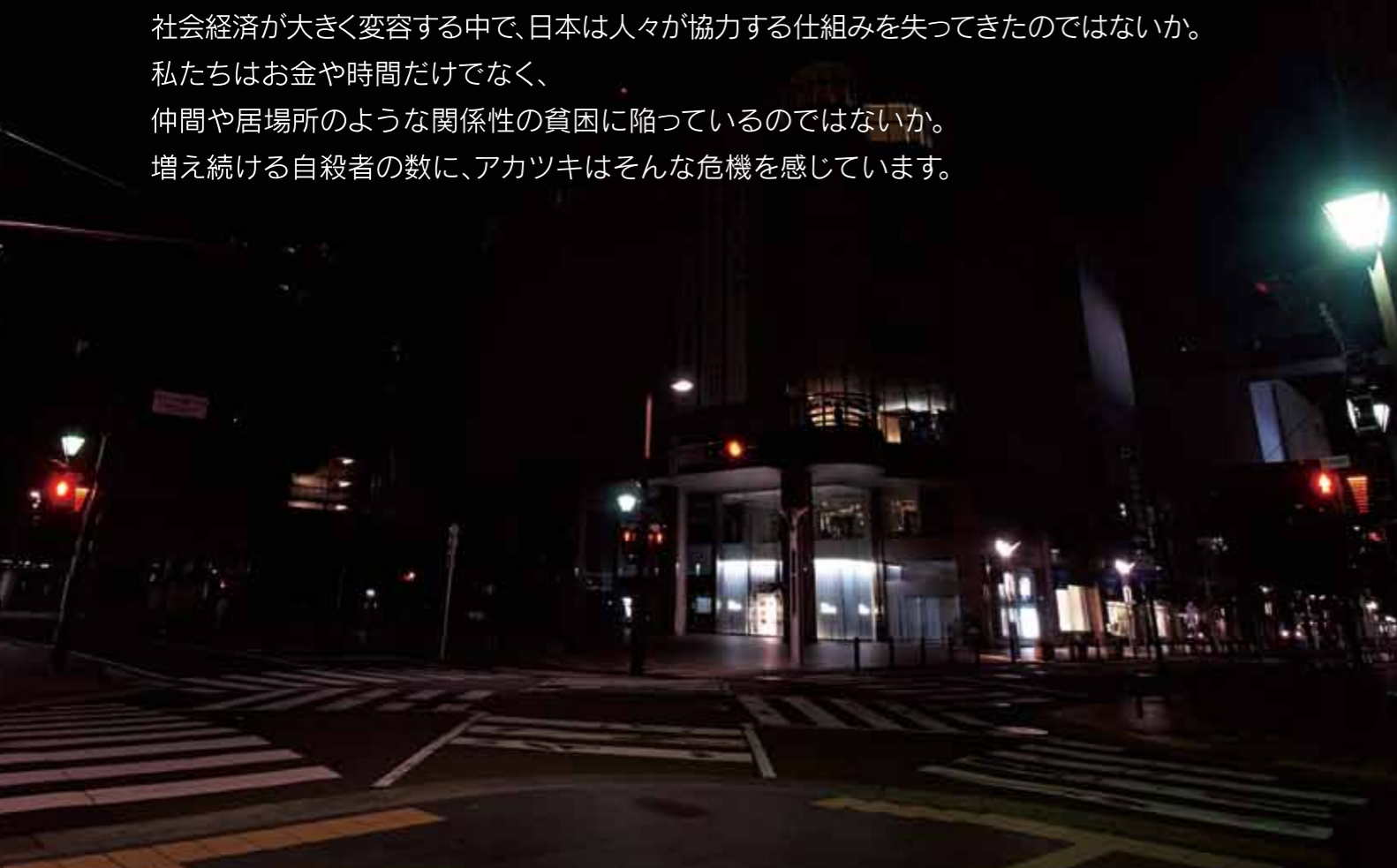
アカツキの約束



ロゴの形には「いびつながらも互いに寄り添い、向き合い、そして決して独りにしない」という姿勢を、そしてロゴの色には「拓かれた明るい社会を迎える前の、夜明け前の最も暗い時間(=暁)を担いたい」というメッセージを込めています。アカツキと関わるあなたにとっての『最初の希望』として、未来を見つめながら、いまと真摯に向き合うことを約束します。

関係性の貧困

社会経済が大きく変容する中で、日本は人々が協力する仕組みを失ってきたのではないかと。私たちはお金や時間だけでなく、仲間や居場所のような関係性の貧困に陥っているのではないかと。増え続ける自殺者の数に、アカツキはそんな危機を感じています。



私から、私たちへ

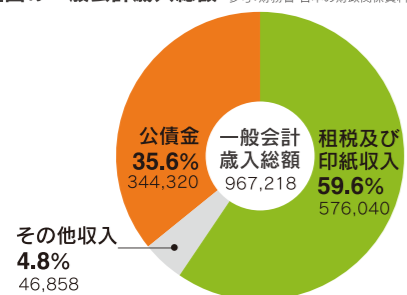
18年前、市民の働きかけにより、「NPO法」が産声をあげました。これは、「私」から、志を同じくする仲間同士で「私たち」を拡げていける制度です。アカツキは、NPOによる特定の社会課題解決だけでなく、関係性の再構築に期待しています。



▶ 崩壊するセーフティネット

近年、「課題先進国」とも表現される日本において、社会課題は多様化・複雑化しています。一方で、国の歳入の3.5割は将来世代への借金で賄われており、国民年金、医療保険、生活保護など、暮らしを守るセーフティネットが少しずつ崩壊しつつあります。これまでのように行政による公的サービスだけで地域を維持することは厳しいのが現状です。

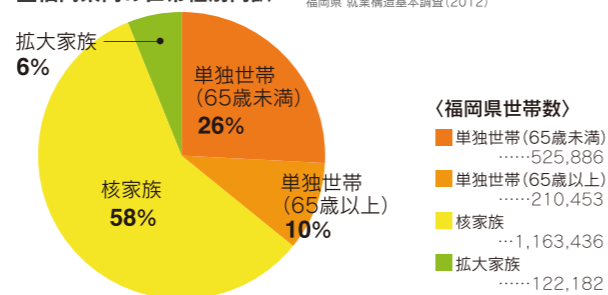
■国の一般会計歳入総額 参考:財務省 日本の財政関係資料(2016)ノ(単位:億円)



▶ 従来のコミュニティからの孤立

福岡県における単身世帯と非正規雇用の割合は、2010年時点でいずれも35~40%程度となっており、3人に1人以上の割合で、人々は家族や職場に頼ることができない生活環境にあります。このような、従来人々を支えてきた職場や地域のコミュニティから孤立する人たちは増加傾向にあり、新たな人と人のつながりが必要となっています。

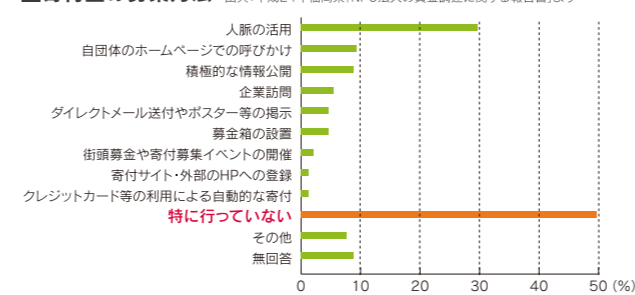
■福岡県内の世帯種別内訳 参考:総務省統計局 国税調査(2010) 福岡県 就業構造基本調査(2012)



▶ 新たなつながり-NPOと寄付-

NPO活動とそれを支える寄付活動が、新たな社会との接続になると考え、寄付文化の促進に取り組みます。東日本大震災後、人々の社会貢献意識が高まったものの、福岡県内のNPOでは、寄付金の募集を「特に行っていない」団体が全体の約50%、寄付者への情報提供を「特に行っていない」団体が25%です。この現状を変えていきます。

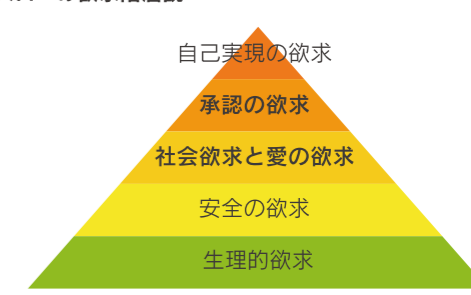
■寄付金の募集方法 出典:平成24年福岡県(NPO法人)の資金調達に関する報告書より



▶ 持ち寄る、寄り合う場づくり

心理学で有名な「マズローの欲求階層説」では、高次の欲求として、居場所や役割を必要とすると言われています。これからの社会には、多くを獲得するという価値観ではなく、分かち合い認め合うことが求められるでしょう。時間、技術、知識など、一人ひとりが自分のできることを持ち寄り、また寄り合い、つながることのできる場所や機会を作ります。


■マズローの欲求階層説



▼アカツキの新しい役員をご紹介します Q.好きなものと好きな言葉は？


♥アカツキに期待し応援くださるみなさまに
役員一同、心よりお礼申し上げます。

永田 賢介 代表理事/
仮認定NPO法人アカツキ 職員




代表理事であると共に、常勤職員でもある立場としては、ご支援者の皆様こそが僕の“雇い主”だと思っています。いつお会いしても恥ずかしくないご報告ができるよう、高いプロ意識を持って頑張ります！

佐々木 悠史 副代表理事/
仮認定NPO法人アカツキ 職員




昨年度は新たに多くの方にご寄付や会員加入をいただきました。アカツキを応援し、共に作り上げてくださる皆様がいてくださることが、アカツキの仕事をよりよいものに形作っていると実感しています。

松島 拓 理事/
認定NPO法人AAR Japan[難民を助ける会]職員




会員や寄付者の皆さんをはじめ、多くの方々に関わってくださった2015年度。ひと桁の職員と役員にできることはわずか。みなさんとともに一歩ずつビジョンを描いていきたいと改めて思う1年でした。

原口 ゆい 理事/
福岡地域戦略推進協議会[Fukuoka D.C.]スタッフ




4年の月日を重ねてきたアカツキ。皆様のおかげで、掲げてきた「私たち」の範囲がぐっと広がってきたように感じています。本年は、もっとその輪がやさしく繋がるよう、丁寧に、確実に取り組みます。

高柳 希 理事/
株式会社ビッグトゥリー 代表取締役



昨年度はアカツキでの関わりが自分を見つめ直すきっかけになりました。また、皆様とダイアログで直接お話できたことも大きな刺激となりました。そんな思いやご支援に感謝の気持ちでいっぱいです！

鋪田 みどり 監事



皆さまにアカツキ4年目の活動をご報告できますことを嬉しく思います。ひとりひとりが自分らしく在る。職員の思いと活動をじっくりご覧いただき、引き続きのご支援をお願いいたします。

志賀 壮史 (理事/NPO法人グリーンシティ福岡 理事 兼 職員)

どうもー、志賀です。大分県竹田市出身です。NPO法人グリーンシティ福岡の理事として10数年、環境保全や環境教育の現場におります。近頃は、ファシリテータやインタープリタなどの人材育成や、環境団体間の協力関係づくりなど、中間支援的な役回りを担うことが増えています。きつと、環境活動の現場経験がアカツキに、アカツキでの経験が環境活動全体によいことをおこすと思っています。よろしくお願いいたします。



なんか新しいことが始まる感じ。

A.カボス/白菜の漬物/大葉/disarmonia mundi/「枯れた技術の水平思考」

雪松 直子 (理事/むなかた市民フォーラム 事務局長/プリズム 職員)

これまで、お母さんのための活動「プリズム」と中間支援組織「むなかた市民フォーラム」としてアカツキの伴走型コンサルティングを体感してきました。事務局の役割と丁寧に向き合うことができ、新たな視点が生まれました。アカツキのビジョンを今までの経験から私らしく伝えていきたい。理事就任への感謝と責任を胸に、支援者・関係者のみなさまに寄り添い、アカツキと共に成長していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



楽しむのは誰よりも得意です！

A.ラベンダー/早寝早起き/アカモク/ゴルフ/魚/水にとけこむ/冬の夜/雨の匂い/「なんとかなる」

兵土 美和子 (監事/福岡大学商学部 非常勤講師)

一般の企業では効率的ではないとして後ろに追いやられがちな「対話と議論」。ここに時間をかけたFRコンサルで、お金だけでは解決できないものを解決し、また人が関わる営みを築こうとしているのがアカツキだと思っています。私は人材育成の現場におりますが、大切にしたいエッセンスは同じ。本年度より参画いたしますが、私自身も、監事としての立場で、みなさんと対話と議論を重ねる一年にしたいと思っています。



私が私でいい場づくり Love

A.レゴ®/シリアスブレイ®/玉子/日本酒/「頑張っている人が無下にされない社会を」

From.AKATSUKI

期待に応えることができる、力強い組織を目指した1年でした。

設立して3年間は、「まだまだ始まったばかりの若い団体だから」ということで、過大なチャンスを頂くことや、時に失敗しても大目に見て頂くこともあったかと感じていました。4年目となった昨年度は、よちよち歩きのアカツキから、「何かやってくれる」という期待に応えるため、コンサルティングのツール整備や事務の複数担当者制を推進し、力強い組織を目指しました。

2015

AKATSUKI

のんちゃんで行く！ アカツキの2015年度振り返りツアー

ワークショップの
設計は任せて！

本業は
コミュニケーション
研修の会社経営
です！



◀ 古民家の一軒家を
貸しきって、囲炉裏を
囲んで議論が白熱！



◀ 合宿で行った
演劇ワークの一幕、
新しい代表理事との
出会いを描きました



◀ トークイベントでは、
理事のプライベートに
についてもお話ししました



◀ 参加くださった皆さん
と集合写真です



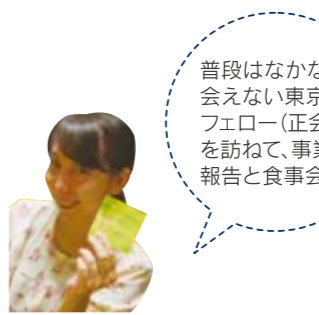
◀ 最後に撮影した、
メンバー全員での
集合写真です



◀ 同じグループになった
皆さんと、記念撮影！



普段はなかなか
会えない東京の
フェロー(正会員)
を訪ねて、事業
報告と食事会！



◀ 20人以上の方から
ご寄付等のご支援を
頂戴しました



◀ 「ソーシャルな
経済って何？」という
テーマで対話しました



◀ 事務局長(当時)の
松島から、
事業報告を行って
いる様子です



あんなこと～、
こんなこと～、
あ～った～で
しょう～。



◀ 後半戦でちょっと
休憩、リラックス
している一同です



◀ 夏の終わり、糸島の
爽やかな大自然の
中で実施しました



◀ 終了後に、会場近くの
居酒屋で支援者の
皆様と懇親会を
行いました



のんちゃん
理事:高柳 希

- ブロックは糸島にて行った
理事合宿の時のスナップ、
- ブロックは法人設立3周年記念
ダイアログの様子、
- ブロックは平成27年度通常総会と
トークイベントの様子です！

コンサルティング事業

ミッションの一つ『参加と協力の仕組みを育てる』ことを目的に、NPOを対象に「ファンドレイジング(資金調達)」を中心とした伴走型支援事業を12団体に行いました。単に寄付収入向上の手段ではなく、取り組む社会課題や目指す未来を理解し、共感・参画する仲間を増やす取り組みと位置づけています。



■ 着実なファンドレイジング施策実施のために

成果を上げるには、地道な作業を一つ一つ丁寧に進めることが重要です。伴走型支援では、支援に入る前のヒアリングを特に大切にしておき、団体の実情をしっかりと把握するだけでなく、団体の既存支援者へのヒアリングも行います。その後団体毎に作成するタスクリストを共有しながら、アカツキ、事務局職員、役員と一緒に作業を進めます。施策実行段階では、予め設定した目標の達成率を確認しながら効果を検証し、ファンドレイジングに取り組みます。



▲ファンドレイジング推進のためのフロー(アカツキ制作)

コンサルティング事例

☑ソルト・パヤタス パナソニック組織基盤整備事業

ファンドレイジング施策実施のために、1年間を通じて対象者の見直しと企画策定を行いました。また事務局業務の棚卸とマニュアル化を行い業務の見え易化と新職員への引継体制を強化しました。



☑むなかた市民フォーラム 業務の明確化と共有体制の構築

新職員を迎え、方針の再整理や業務の棚卸等を行うことで、職員全体の意識の共有化を図りました。現場職員が動きやすい組織体制づくりを行いました。



☑エデュケーションエキューブ 会員向け報告書作成支援

継続的なファンドレイジング施策の効果を高めるため、既存支援者への活動報告を行う報告書を作成しました。報告する内容を整理してデザインを行い、受益者を見せる写真撮影を行いました。



PICK UP!

認定NPO法人取得支援

平成26年度に引き続き、福岡県「認定取得促進事業」を受託し、認定NPO法人の取得を目指す6団体に対して、約6ヶ月にわたる個別支援を実施しました。福岡県の担当職員と認定NPO法人制度に知見のある末吉税理士と連携して、個別状況やニーズに合わせた専門的支援を提供し、2団体が認定申請しました。

協働事業者の声

私たちの活動の原点と社会的意義・目的を改めて再認識することができました

アカツキさんは、私たちの体制を理解してくれた上で、できるだけ負担なく取り組む方法を提案してくれたり、思いが伝わりにくいNPO活動を見える化するためのアドバイスとして、活動実績を数値化したり、受益者である会員の喜びの声などを整理するところまでの細かいフォローをしてくださいました。

アカツキさんのご指導のおかげで、目標寄付額を達成することができましたが、それ以上に、クラウドファンディングへの挑戦を通じて、理事と事務局が一丸となって目標に向かえたこと、とても有益な経験になりました。



上田 あい子 さん
NPO法人
ウィッグリング・ジャパン
代表理事



2016年度の事業方針

非営利団体および市民団体などがファンドレイジングを開始し、継続実施できるようにするための支援を引き続き行います。団体と中長期に渡った関係性を増やし、支援施策の実施と計測に力を入れます。また、新規でNPO法人を設立したいニーズにも応え、認定取得やファンドレイジング経営を意識した、適切なスタートアップを行える団体を増やします。さらに、昨今増加しつつある企業におけるCSR企画にも、コーディネートニーズに対応します。

人材育成・コミュニティ構築事業

これからの市民社会や非営利組織の運営を担う実務者を育てるために、研修やセミナーなどを通して、のべ520名以上にNPO法人やファンドレイジングの概念、事例、ノウハウの共有を行いました。また、ミッションの一つ『試されない関係性を広げる』ことを目的に、対話の場づくりも行っています。



■ NPO経営のための「引き出し」をつくる

いくらワークショップや双方向型の研修、セミナーを中心に行っても、1~2回、2~3時間の学びだけで、急にNPOの経営がうまくいく訳ではありません。そのため、私たちは「やってみよう」「できるはず」というモチベーションの向上を、第一段階の目標に置いています。また、複数回の連続講座+学び合うコミュニティづくり+宿題の提示によって、基本的な概念や多くの事例を提供し、受講者がその後の実践の中で、学び続けることができる「引き出し」を整えています。

NPO法人の経営判断の複雑さ

↑	C事業 ミッション性が高い 収益性は低い →リスク	A事業 ミッション性高く かつ収益性も高い →理想
↓	B事業 ミッション性低く かつ収益性も低い →避け、廃止	D事業 ミッション性低い が収益性が高い →リスク

◀ 非営利組織の事業評価マトリクス
 営利組織の場合は、PPM(プロダクトポートフォリオマネジメント)などのフレームを活用し、主に事業の収益性で経営判断を行います。非営利組織の場合はそこにミッション性も加味し、更に複雑な合意形成が必要となります。

▶ 支援理由の簡単な分解と比較
 自団体における支援者の動機を、ヒアリング等を通じて「GOOD」(事業内容への共感や納得)と「LIKE」(団体代表やメンバーへの好感や信頼)の二種類に分けて簡単に分析を行い、その結果に基づいて戦略をたてていきます。



セミナー・研修事例

☑ ソーシャル・スタートアップセミナー @福岡市スタートアップカフェ

社会的な事業で起業しようと考えている方を対象に、非営利・特にNPO法人を中心に、「設立」「資金繰り」などをその他の法人と比較し、検討材料を盛り込みながらお伝えしました。



☑ 簡単! 便利なITツール活用術 @北九州テレワークセンター

西鉄バスナビで有名な「株式会社からくりもの」の岡本豊さんにもご協力をお願いし、NPOにおける情報共有の大切さを伝え、GoogleやDropBoxなどの活用方法を紹介しました。



☑ ビジュアルコミュニケーション講座 @福岡県・NPOボランティアセンター

NPOが販売する商品のストーリー戦略や販路開拓を研究する「つなぐつず会」主催の勉強会にて、アカツキの事例を参考に、商品の魅力を発信するための写真撮影講座を行いました。



福岡市共働促進アドバイザー

代表理事の永田が2013年度より、福岡市共働事業提案制度「共働促進アドバイザー」を拝命しています。NPOと行政が特定の課題解決に向けて、共に力と資金を出しあい事業を実施する制度ですが、その設計段階や実施中において、受益者・また税負担者である市民の立場を鑑み、助言や会議の進行補助を行っています。

2016年度の事業方針

これまで培った知見をワーク中心の講座で伝え、その受講後にファンドレイジング・イベント実施支援を通して、寄付集めの小さな成功体験とNPOの事業継続に必要な基礎的な事務・計画力を獲得する、集合型の研修を行います。また2015年度末、インターン生(皆川奈鶴美)と共にテスト実施を行った、一般市民向けの対話イベント「もくもくダイアログ」を、新規事業として正式に立ち上げ、4半期に1度、継続的に実施していきます。

研修受講者の声

あの日、目の前の視界がぐっと広がったような気がしました

活動は充実しているものの、資金繰りに苦労する日々で、知り合いの方から紹介を受け、半信半疑で講座を受講しました。広く社会に活動を伝え、継続して支援を受ける。そのような仕組みがあったという驚き、そして前年度受講者の実践を、ゲスト講師という形で聞いて脱帽。と同時に、やっぱりラクして資金調達は無いのだなとの思いも。講座を受講してから、とにかく私達は動き始めました。目下、目の前の小さな山を登っては下る日々ですが、視界はぐっと開かれ、いつか大きな山に登れるのではないかと、仲間と夢見ています。



中川 啓子 さん
 NPO法人
 チャイルドケアサポートセンター
 理事



調査研究事業

東京や海外におけるNPOセクターの最新動向をいち早く捉えることや、アカツキならではのファンドレイジングの概念を言語化することで、地域の中に新しい価値観を提唱・発信し、コンサルティングや研修の質の向上を図るとともに、市民社会と寄付文化の醸成を推進しています。



■ 寄付者の想いに寄り添うフレンドレイジング

世界17カ国で活動をする東京の大手NGOの広報・支援者サービス担当である松浦純子さんと、これまで14年間で40団体に総額600万円以上の寄付経験のある大澤龍さんのお二人と連携し、ファンドレイジングは資金調達に留まらない、寄付者を主体とした「参加と協力の仕組み」であることの説明、また寄付する側／受け取る側の両方の心理を体感するワークショップを行いました。福岡では自主開催、東京では「FRJ2016」の1セッションとして登壇しました。



協働事業者の声

想いに寄り添い、温かい気持ちの輪を広げていく第一歩を一緒に踏み出せました

まず、この企画をともにさせていただいたことに、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。支援者が「団体や働く人に共感して支援をする」、団体も「寄付者の想いに寄り添った対応をする」、そんな想いの輪を大切に、広げていきたいと思っていた私には、企画から実施までとても有意義で、楽しい時間でした。フレンドレイジングの概要、寄付する・受ける側の視点を整理し、ワークショップをつくり、形にできたこと、何よりたくさんの方が話を聴いてくださったことが心から嬉しかったです。この一歩からもっと輪を広げていけるよう、私もがんばってまいります。



松浦 純子 さん
認定NPO法人AAR Japan
【難民を助ける会】
広報・支援者サービス担当



調査・研究事例

☑補助金・助成金の「出し方」勉強会 NPOを成長させる資金的支援の在り方

NPOの成長を促進するための、適切な額、使途、申請書などに関する議論を、福岡県・福岡市・北九州市・宗像市・福岡市社協・九州労金の各ご担当者と共に、年度中5回開催しました。



☑西日本新聞寄稿連載「希望の種」 aka-tsuki.org/services/docs/

2015年10月より、西日本新聞朝刊「都市圏ワイド」にて、代表理事・永田が「希望の種 ふくおかNPOファイル」と題し、福岡県内で活躍するNPOを紹介する連載を続けています。



☑社会的成果に対する評価の動向と実践 福岡県主催の会議で報告と提言

福岡県内の有識者、企業、経済団体、NPOなど20名の委員にて構成される「NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議」にて、NPOの成果評価についての発表を行いました。



PICK UP!

法に込められた理念を学ぶ

3月に東京で開催された「NPO法立法過程記録 編纂・公開記念シンポジウムー市民が法律をつくる、活動を記録する、共有して学ぶー」に参加。NPO法は、その「内容」と「立法プロセス」が、いずれも参加・公開・対話を大切にしているという点で、一致していることが重要だと語られました。

当日のtwitter中継記録: <http://togetter.com/li/945209>

2016年度の事業方針

前年度に資金確保が不十分で実施できなかった、福岡における寄付市場およびファンドレイジング事例の調査を行います。また、ファンドレイジングの成果を「金額」や「寄付者数」といった定量評価の面だけでなく、寄付者の「心理」と「行動」といった「プロセスで生まれる変化」に焦点をあてた定性評価も重視し、その必要性を広く社会に提起することで、NPOが行うファンドレイジングの価値や、それを支援するアカツキの役割を明確にしていきます。

決算報告

活動計算書

(2015年4月1日～2016年3月31日) ※概要版

科目		金額(円)
経常収益	受取会費 正会員/サポーター会員	462,000
	受取寄付金	559,800
事業収益	(1)コンサルティング事業収益	3,694,748
	(2)人材育成・コミュニティ構築事業収益	2,939,900
	(3)調査研究事業収益	271,940
その他収益	受取利息/雑収益	83,973
経常収益 計		8,012,361
経常費用	事業費	5,194,198
	諸謝金	1,228,640
	会議費	15,595
	支払手数料	12,318
	旅費交通費	521,100
	消耗品費	67,720
	印刷製本費	19,410
	交際費	111,030
	租税公課	4,800
	賃借料	293,868
	通信運搬費	17,359
	研修費	24,000
	新聞図書費	55,063
	諸会費	40,000
	事業費 計	7,605,101
管理費		1,302,590
経常費用 計		8,907,691
当期経常増減額		△895,330
税引前当期正味財産増減額		△895,330
法人税、住民税及び事業税		71,000
当期正味財産増減額		△966,330
前期繰越正味財産額		2,943,445
次期繰越正味財産額		1,977,115

給料手当/法定福利費

コンサルティングや講師業では、物品の仕入れや設備投資の費用が不要なため、支出の約6割を占めています。

旅費交通費

コンサルティングのための日常的な職員の移動、また研修やセミナーで関東の講師をゲストに招くために使用しています。

交際費

講師との懇親会や訪問先企業への手土産など、ステークホルダーとの関係を良好に保つため、事業費に計上しています。

賃借料

近年、福岡での展示会や国際会議の活性化などもあってか、安く使用できる会議室の空きが減り、経費が増加しています。

諸会費

NPOに関する法制度の最新情報を把握するため「NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」の会員になっています。

管理費

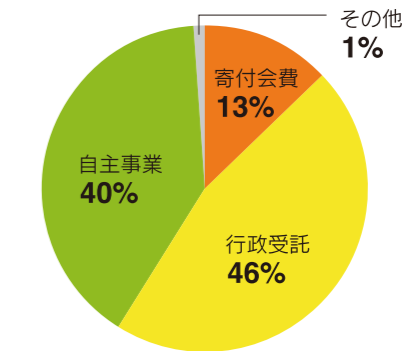
経理担当パート職員人件費、事務所家賃・水光熱費、アニュアルレポート制作費、税理士顧問料などを含みます。

2015年度の振り返り

赤字決算は投資と割り切り、収入構造の改善が課題です。

2015年度は、収入が約801万円(前年度比102%)、支出が約890万(前年度比132%)で、当期経常増減額では約96万円の大きな赤字となりました。原因は職員数と給与額を同時に増やした一方で、収入は年度当初の目標に対してマイナス200万円となったためです。前期からの繰越財産によりキャッシュは197万残りますが、資金繰りに注意が必要です。また、行政からの受託事業などによる収入が総収入の約5割近くに上っています。自主事業収益の拡大は、喫緊の課題です。

■2015年度の収入区分

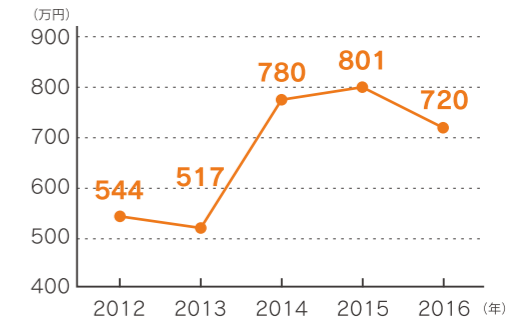


2016年度の計画と目標

コスト管理の徹底と、収益性改善の新しいチャレンジへ。

2016年度は体制の構築期を終えて5事業年度目に入り、多くの支援者様の期待を寄せて頂くこととなります。そのため、縮小した職員数で前年度と同程度の事業規模(800万円程度)を維持することを目標とし、資金繰り表や業務進捗表により、時間と事業費の管理を徹底します。また、長期のファンドレイジングコンサルティングや企業向けのCSRコーディネイト、組織改善のサービス開発・開拓を行うことで、丁寧な仕事の姿勢は維持しながら収益性の改善を目指します。

■収入総額の推移と次年度目標



貸借対照表

(2016年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
流動資産	(現金・預金)	流動負債	未払金 497,860
	現金 61,359		預り金 7,727
	普通預金 1,879,499		未払法人税等 71,000
	現金・預金 計 1,940,858		流動負債 計 576,587
	(売上債権)	負債の部 合計	576,587
	未収金 612,844	正味財産の部	
	売上債権 計 612,844	正味財産	前期繰越正味財産額 2,943,445
流動資産 合計	2,553,702		当期正味財産増減額 △966,330
			正味財産 計 1,977,115
			正味財産の部 合計 1,977,115
資産の部 合計	2,553,702	負債・正味財産の部 合計	2,553,702

活動計算書および貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO法人アカツキの収支を正しく示していることを認めます。

監事 鋪田 みどり

人と組織

新しい仲間との出会いを待っています

2015年度末に松島・黒田が退職したことにより、2016年度のアカツキ事務局は永田と佐々木の常勤2名体制となります。退職は、以前からわかっていたおかげで、引継ぎとしくみ化の話し合いを進めることができたため、大きな不安はなく事業を進めることができそうです。

新しい仲間も必要としてはいますが、こればかりはパーツを入れ替えるように簡単に行くものではありません。アカツキのビジョン、ミッション、そして新たに言語化した、右の「就業基本心得」に共鳴しそうな方がいらしたら、ぜひご紹介くださいませ。

アカツキ就業基本心得

- その一 互いの出番をつくること。
業務上の役割に敬意を払い、互いに活かし合う関係性をつくる。
- その二 分からないを大事にすること。
対話の中で分からないことを共有し、互いによく聞き受け止める。
- その三 目指す社会の一員になること。
当法人のビジョンと、個人々の業務に携わる姿勢を一致させる。
- その四 小さな学びを積み重ねること。
「急がばまわれ」の意識を持って現場から日々学び、組織の共有知とする。
- その五 心地良く休める環境をつくること。
互いに関心を持ち、心地良く休める環境をつくるために支援し合う。

■仮認定取得の報告

アカツキは、2015年8月10日に、福岡市より公益性が高いと認められ「仮認定NPO法人」となりました。これによって、アカツキへご寄付・入会を頂いた方は、寄付・サポーター会費の最大約50%が戻ってくる寄付金控除など税制上の優遇措置を受けることができます。

■認定制度の意義

認定NPO法人に設けられる税制上の優遇措置は、寄付者が税金の使途に想いを反映できる画期的な仕組みです。例えば、個人の方が認定NPO法人に寄付した場合、控除されるお金は本来、税金として国や地方自治体によって使われるはずだったもの。寄付金控除を活用することで、寄付者が税金の使い道を国や地方自治体に代わって、自ら信頼する認定NPO法人に託し、主体的に社会を変える方法を選べるのです。



■認定NPO取得のメリット

<p>01</p> <p>寄付額の最大約50%が戻ってくるなど4つの税制上の優遇があります※</p>	<p>02</p> <p>一般のNPO法人より厳正な内部管理が行われます</p>	<p>03</p> <p>情報公開が強化され、団体の透明性が高まります</p>	<p>04</p> <p>厳正な内部管理と高い透明性により社会的な信頼が向上します</p>
--	--	---	---

※認定NPO法人になると受けられる4つの税制上の優遇措置

1.個人が寄付・サポーター会員に入会した場合、寄付・サポーター会費額の最大約50%が戻ってきます／2.株式会社などの法人が寄付した場合、経費として扱える損金算入限度額が拡大されます。／3.相続人が寄付した場合、寄付した相続財産について相続税が非課税になります／4.収益事業を行う場合、法人税の軽減措置を利用することができます

■認定キャンペーンのご報告

2016年5月現在、【仮認定NPO法人】であるアカツキは、更に【認定NPO法人】を目指しています。(認定／仮認定取得のNPO法人は全国で1000団体未満、福岡県では22団体です) その取得条件である「3,000円以上の寄付者(サポーター会員でも可)が年平均100人以上いること」を達成するために、2015年12月～2016年1月に「アカツキを認定NPO法人に押し上げる!キャンペーン」と称した企画を実施しました。60人のサポーター会員または寄付者を募集し、結果として目標を上回る71人のお申し込みを頂きました。

また、Facebook上でのプロモーションには、フェロー(正会員)やインターンの皆様にご協力頂きました。(左から、原口尚子さま、稲月ひかりさま、梅崎友貴さま、富永沙和さま、多原真美さま、皆川奈鶴さま、鳥居亜佑美さま。)



▶ 中期計画概要

アカツキはビジョンに向かった確実な歩みを実現していくため、過大な目標や急激な拡大を目指すのではなく、社会のニーズと適した成長速度を探り、健全で持続的な経営を推進していきます。

2015年度から平成29年度までの中期経営計画においては、市民に対し、ファンドレイジングを通して寄付の機会を提供するNPOの増加を目標とします。その達成のため、福岡市と北九州市を中心に、主に個人の寄付者を開拓したいNPOを対象としたファンドレイジング・コンサルティングと、その支援と連動した市民への参画機会の提供を行います。

また、情報の透明性と社会的信頼が高い水準で認められ、多くの支援者に期待される「認定NPO法人」になることを目指します。

2012～2014年度	2015年度	2016～2018年度	2019年度～
創業期	体制構築期	体制運用期	体制確立期
事業像の模索と組織内部のコミュニケーションに時間をかけ、事業を推進しました。	事業の体系化と、事務局業務の整備を行うことにより安定した組織体制を構築しました。	代表理事の交代も視野に入れ、組織のチーム力強化と体制運用の適正化を行います。	新代表理事の下、成果志向の事業モデルと持続的な組織体制を確立します。

アカツキの仲間たち ※氏名公開可の方のみ・順不同

■フェロー(正会員)

宇都龍志さん／西塔ともみさん／小島理絵さん／小淵亮兵さん／鈴木大空さん／多原真美さん／野崎大雅さん／長廣百合子さん／西本朗羅さん／池本桂子さん／富永沙和さん／古橋範朗さん／藤見里紗さん／大澤龍さん／大島隆さん／稲月ひかりさん／大庭勇さん／原口尚子さん／早田等さん

■サポーター会員

青木絵美様／岡優子様／栗田将行様／平由以子様／中里明日香様／松田美幸様／マクリマイケル様／八尋さおり様／吉武ゆかり様／原田君子様／黒田美穂様／影山知明様／松島弘哉様／村田那菜子様／藤原一尊様／山中祥子様／坂崎あゆみ様／増永弘子様／相浦圭太様／間間理様／清水隆哉様／知足文隆様／福島優様／藤村一行様／本田正之様／宮田智史様／渡邊裕子様／牛嶋麻里子様／福岡佐知子様／雪松直子様／太田直子様／河合将生様／天川公次様／山内泰様／鹿野翔様／櫻井香那様／白神加奈子様／末本圭子様／谷口竜平様／金子雄一郎様／池本真一様／植村康子様／高橋あづさ様／立花祐平様／渡邊浩美様／加藤健太様／森田義也様／小川恵美子様／今村晃章様／福留裕一様／筒井さおり様／矢野裕樹様／梯愛依子様／草場勇一様／清水舞子様／宮下和佳様／久保みなみ様／大久保大助様／中尾利彦様／森耕一郎様／四宮 淳平様／鳥居亜佑美様／大田弥生様／上村一隆様／伊藤次郎様／仲西浩一様／野田直樹様／田辺友也様／大神弘太郎様／田北雅裕様／後藤大輔様／加留部貴行様